



今月のみさとし／悟りに生きる一日の供養は凡夫百年の祭祀に勝る。(ご聖訓第九巻 63 頁)

第156回健康学園コースin関西道場

家族や支部にて実践 さらに一步

8月25日～26日、関西道場にて本部研修・健康学園コースが行われ、総勢86名が集い、学びを深めた。初参加者が半数近く、また関西地区を中心に遠く関東や九州からの参加者が集い、終始、明るい雰囲気の中で進められた。

はじめに解脱掌心法の実習の後、体づくりの基になる解脱有食法の講義が行われた。さらに総合指導として、班ごとに分かれて体位矯正法と足心道、呼吸法の指導法を順番に学んだ後、宮坂保徳教育部長の講話「み教えと健康指導」をもって1日目が終了。

翌朝6時、解脱金剛宝塔前でお百度を踏み、3分間体操を行った。道場に戻って磯崎利夫指導員の「美健食について」と題する講義でスタート、自身のこれまでの歩みや健康指導の教えをふまえ、美健食の大切さについて語った。続いて実習の時間では参加者の希望をもとに、体位矯正法と足心道に分かれて行われ、それぞれの指導法について学びを深めた。また参加者からの「実践報告」では、社会の中で実践していく取り組みの課題や喜び等が、具体的な体験を通じて語られた。



宝塔前で3分間体操（他の写真は会員専用ホームページ→研修係に掲載）

閉講式において宮坂部長は、先の「実践報告」の内容に触れ「社会に向かうには、大きなエネルギーが必要。それを越えて一歩進み実践すると誰もが自分の使命に生きる大きな喜びを得ることができ

る」と結び、終了となった。

初参加者からも、「できるところからすぐ実践していきたい」等の積極的な感想が多く聞かれ、互いに社会奉仕に向けた士気を高め合う充実した2日間となった。

第138回米国解脱教会秋季大祭

奉祝大祭ツアーに向けて



解脱靈廟前にて。今回はハワイ教会の元副理事が祭祀された

9月2日、カラッとした夏の日差しを浴びたサクラメント解脱教会において、第138回米国解脱教会秋季大祭が開催された。

五智聖堂内の第1部・式典では、まず前回より始まった、アメリカ文化に根差した新しい英語の勤行法則を用いた挙式行事で行われた。続い

て女子青年による献花、女性部による献茶と稚児行列の後、萬靈大供養が行われた。

岡野英夫米国解脱教会総長は記念講演の中で、地球は生きている生命体であると説き、その中の一部として私たちは生かされているのだと述べた。そして、この地球は今、大きな変革の時を迎えてお

黒姫出張所・工場火入式

天茶法薬加持の儀で安全を祈る

8月20日、今年も黒姫出張所において天茶法薬加持の儀及び工場火入式が執り行われ、渡辺孝彦理事長、岡野英夫顧問をはじめ黒姫出張所職員、鈴木正則天茶耕作者組合長らが参列した。

午前11時、黒姫工場2階御神前にて天茶法薬加持の儀が行われ、続いて正午より第1作業棟にて火入の儀と天茶



の撒き供養が行われ、作業の安全が祈念された。続く直会では鈴木組合長発声の乾杯後、日頃の労をねぎらいあつた。

り、私たちもまた解脱世界実現のため大きく変わらなければならぬと改革の必要性を訴えた。続いて第2部・解脱靈廟祭祀の儀では、新たに7靈位が祭祀された。

第3部は、境内の不動明王前で「柴燈護摩の儀」を厳修。「世界平和」や「教会の発展」を祈念すると共に、米国から

50名以上の会員が参加する奉祝立教90年秋季大祭ツアーワークの無事と、来年米国で行われる奉祝70周年米国秋季大祭の成功が祈念された。

その後の直会で、参加者は境内の木々の下、会員有志によつて用意された特製チキン丼等をいただきながら大祭の余韻を楽しんでいた。

中国第 2 教区・被災地ボランティア

西日本豪雨被災地で炊き出し奉仕

中国第 2 教区では、7 月 7 日の西日本豪雨により大規模な浸水被害のあった岡山県倉敷市真備町川辺地区の被災者に対する炊き出し奉仕を、同市立川辺小学校玄関前において行った。

8 月 12 日、実行委員長の沖本義治福山引野支部長の指揮の下、男性 10 名、女性 7 名、計 17 名の有志が 9 時に集合しテントの設置などの準備を行い、11 時から冷やし素麺と天茶を配布。終了時間を 30 分も延長し、被災者約 400 名の笑顔に触れ、奉仕する会員にも喜びの表情が満ちていた。

また 9 月 2 日に 2 回目の炊き出し奉仕を開催、教区担当の安達武寿指導員、

地元の朝倉寿男岡山灘崎町支部長をはじめ福山引野支部、福山城蔵支部の会員有志、16 名が参加した。今回は被災者からのリクエストに応えて温かい牛丼を用意。地元で被災した灘崎町支部会員の野崎良助さん宅で調理を行い、現地の小学校で盛り付けて配布。被災者ならびに現地のボランティア従事者など約 450 名がおいしそうに食していた。

また心身のケアをすべく会場の一角に「足もみコーナー」を設け、長い避難生活を過ごす被災者たちに喜ばれていた。

奉仕の会員たちは、被災者の気持ちを共有しながら寄り添い、経済的支援と心身のケアの必要性を痛感していた。



第 1 回目、炊き出し準備の様子 (8/12)



第 2 回目、牛丼の炊き出しに並ぶ被災された方々 (9/2)

中国第 2 教区・第 40 回広島原爆犠牲者慰靈供養会

平和の誓い新たに

中国第 2 教区は 8 月 19 日、広島平和公園内の無縁仏の原爆供養塔前において第 40 回広島原爆犠牲者慰靈供養会を開催、参列者は中国第 1 教区より岡山三和、島根木次支部会員らを含む合計 110 名が集い、厳かに執り行われた。

正午に開会。猪子恭一担任部長の開会挨拶に続いて、平和の祈りを込めた 1 万

羽以上の折鶴が奉納された。その後、広島原爆犠牲者之靈、被災鳥獣虫魚之靈、被災樹木草之靈、被災土精萬靈の諸靈に対し、礼拝。1 分間の黙祷、瀬尾正照教区長による諷誦文奏上、続いて般若心経 21 卷による天茶供



養と撒き供養が厳修された。

最後に安達武寿指導員の挨拶をもって終了となり、平和への誓いを新たにした。

東京第 4 教区
女性の集い

「敬神崇祖」テーマに

8 月 19 日、2 年ぶりの教区女性の集いが開催された。今回は「敬神崇祖～いのちのつながり～」をテーマに、本部より岡野英夫顧問を講師に迎えて学び合った=写真。

当日は厳しい暑さの中、子供から高齢者まで合わせて 60 名が参加、会場の大岡山支部は活気に満ちていた。宇佐見光男教区長の挨拶に始まり、続いて 2 名による体験発表。梅屋敷支部の宮崎幾代さんは子供の不登校を通じて、教区や支部の法友たちに支えられながら学んだこと、大森八幡支部の大橋ミチ子さんは、宗教に否定的だった夫と孫の病



気、事故など立て続けに続いた試練を機に、夫婦で解脱の道に精進するようになった体験談を語った。岡野顧問は講話で、本会の立教 90 年、また自然災害の多発から見られる地球規模での転換期を迎える今、一人ひとりが気持ちを一新して事に臨むべきと力強く訴えた。一同感激のうちに女性の集いは終了した。

和歌山教区
女性大会

合わせる気持ち大切に

8 月 26 日、和歌山教区女性大会を和歌山県 JA ビルにて開催し、およそ 100 名の参加者が集まった。

午後 1 時より開会。まずは中村泰明教区長が挨拶を述べ、体験発表では和歌山田辺湊支部の宇井法子さんが、幼少期の火傷を通じての体験や礼節を重んじる大切さについて語った。その後、全員で解脱 3 分間体操を行い、続いて門多悠志教区青年部長より活動報告があった。出講の黒宮律子指導員の講話では、自身の体

験を交えながら女性として、妻としての役目を説くと共に、「日々のお蔭さまに感謝して、人として生みなされた喜びを心から感謝すること。水のように、どんな形にも合わせていける気持ちを大切にしましょう」と述べた。最後に参加者一同で「しけとこ旅情」を合唱、盛況のうちに午後 4 時、閉会した。



札幌道場再建30年・北海道命名150年・北海道大会



車教区長の先達により道東・道南の両教区会員が心一つに拝礼行事



岡野顧問の記念講話に真剣に耳を傾ける参加者

晴天に恵まれた 8 月 26 日、札幌道場において、道東、道南教区合同の北海道大会が、岡野英夫顧問を出講に迎え、全道各地から合計約 170 名が集う中、開催された。

この行事は奉祝の年であると共に、平成元年 5 月に札幌道場が再建してから 30 年を迎える、さらに北海道命名 150 年を迎えるといった意義深い年に道内会員が一つになってお祝いするべく企画された。

まず森下勇実行委員長の挨拶、続いて車康平道南教区長が両教区役員を代表し

て挨拶を述べた。井上公郎道場長の挨拶の後、「北海道解脱会の歩み」をテーマに、小嶋容子道南教区女性部長による「北海道ものがたり」の朗読が行われ、先人先覚者の労苦に思いをはせた。

功労表彰では、特に功労のあった方々へ長年の功績を労った。続いて 6 月に催されたこども大会で青年部・女性部の協力のもと御生誕祭の献灯式をモチーフに作られた貼り絵が紹介された。

午後は、岡野顧問より「み教えを学び、大志を抱け」をテーマに記念講話が行わ

れ、立教 90 年を迎えて未来に向けて、どのようにみ教えに向き合っていくかが示された。

終礼行事の後、北海道大供養が行われ、北海道 150 年の歴史の中で、心血を注ぎ北海道の発展に尽くされた先住民族、並びに先覚者、開拓者のお靈魂に真心からの感謝と、北海道にてみ教えの布教、発展に努力された諸先生、諸先輩に感謝、御礼のご供養が併せて捧げられた。「北海道の心を一つに」との先人たちの思いが実現した素晴らしい一日となった。

九州教区北地区・長崎原爆犠牲者供養

供養を待つ諸靈の心を思いつつ

九州教区北地区では 7 月 29 日、長崎原爆犠牲者の供養祭を長崎平和公園内にて開催し、70 名が参加した。

供養祭は、原爆が投下された時間に合わせて 11 時に開式。日野富美副担任部長の開会挨拶、弘中由治教区長挨拶の後、

犠牲となった諸靈に 1 分間の黙祷を捧げた。千々松勝明担任部長の諷誦文奏上の後、天茶供養を行い、慰靈の真心と平和への祈りを捧げた。また、被爆者の伊藤武治氏より当時の悲惨な状況などを聴き、改めて平和の大切さを胸に刻んだ。

台風接近に伴い開催中止も考慮されたが、終了時間を早めることで対処し、参加者が一致協力して天茶供養を行



つ諸靈の気持ちに応えるべく厳粛に供養祭が行われた。

大分護国神社参拝と公的供養

地元・大分の英靈に天茶供養

九州教区東地区では 8 月 19 日、大分県護国神社と桜ヶ丘聖地にて、33 名が参加し大分県と縁故ある戦役戦没者に対して慰靈の真心を捧げた。

まず大分県護国神社で行われた慰靈祭では、英靈に対して慰靈の誠が捧げられた後、宮司より丁重なる挨拶を賜り、当行事の尊さをより深く実感した。その後、参加者全員による勤行に続いて、境内の慰靈碑前、さらに神社内にある西南の役軍人墓地に移動して真心からの天茶供養を行った。

続いて桜ヶ丘聖地に移動し、納骨堂・満州事変戦没者合祀碑、ユフタ戦没者の



墓前、旧衛戍地理葬者合祀碑、濟南事変戦死者の碑と、各所において天茶供養を捧げた。

大分県と縁ある戦役戦没者に対する慰靈の真心と共に平和への感謝の祈りを捧げた参加者たちは、故郷を守るために祖国を守るために命を捧げた戦没者への感謝の念をより深くすると共に、当行事をはじめ公的供養を実践していく重要性を改めて強く認識した。

事業部商品のご紹介

び けん 「美健」



美健食=右(赤)
2,500円(税込)
美健の素=左(緑)
3,700円(税込)

健康維持のためにと長年、多くの方々から愛され、ご愛顧いただいております。健康食としておなじみの「美健」には「美健食（赤）」と「美健の素（緑）」の二種類があります。タラノキ、昆布、クコ、甘茶等の国産の海・山・野の幸が、赤缶には 17 種、緑缶には 33 種配合され、体に良いものが詰まった自然食品です。美健を飲んで、体质改善していましょう。

●お問い合わせは、解脱会事業部まで
☎ 03-3353-2191

スポットライト 読売書法展に入選

大宮土呂支部
井上 優子さん

本会の文化活動の一つである解脱書道会『大雁』で審査員を務める井上優子さんが、この度、平成 30 年度「読売書法展」の仮名部門において入選した。

書道歴 30 年と長い井上さんだが、仮名は今年 2 月から本格的に始めたばかり。作品は『古今和歌集』の中の紀友則の二首。「仮名は漢字と異なり叙情的なものが込められるため難しさが増す」と語る井上さん。だが作品を書くにあたっては、本会書道会前代表の故・加藤昭堂先生から頂いた筆と硯で一気に書き上げたと



のこと。加藤先生から見えない力を頂いたとも語る。

来る御生誕祭(11/27～28)の期間、10 年ぶりに「奉祝書道展」が解脱金剛記念館にて開催される。「是非とも足を運び、書道の楽しさを感じてほしい」と熱く語っていた。

北関東ブロック・みどり祭り 2018

雨天の中、親子が集う



9 月 2 日、北関東ブロック青年部は「社会貢献奉仕活動」の一環として、御靈地で「みどり祭り」を開催した。

当日は雨天のため、お山から解脱鍊心館に会場を移し、焼きトウモロコシやかき氷、焼きそば、フリフリチキンな

どの模擬店と一般参加者によるフリーマーケットが行われた。また、昨年好評だった射的コーナーや磁石を使った釣り遊び、土笛・クラフト体験などの「こども広場」に親子が集い、青年部員らと交流を深めた。奉納演芸では地元のダンスチームに協力いただき、華やかな演舞も行われた。

みどり祭りの収益の一部は「北本市緑と花のまちづくり基金」へ寄付される。

東京第 6 教区・三聖地巡拝

世界平和の祈りを込めて



東京第 6 教区は、8 月 24～26 日、14 回目となる「夏の三聖地巡拝」を親子孫合計 127 名、バス 3 台で挙行した。

台風の影響が危ぶまれたが、25 日は小雨の中、外宮参拝で始まった。内宮、櫛原神宮と巡り、各聖地において有り難いご挨拶を賜った。最終日は御寺泉涌寺・靈明殿に

おいて、参拝を効うお言葉と共に、「教区の発展と参加者の益々の活躍を祈念します」と、上村貞郎長老猊下よりご挨拶を賜り、金剛宝塔前では、金剛さまに巡拝完遂のご報告とお誓いをした。参加者一人ひとりが目指すべき理想を再確認し、決意を新たに帰路についた。

神静圏域・健康指導研修会

足腰を鍛えて元気よく!

神奈川・静岡両教区では、毎月、湘南道場で開催している健康指導研修を静岡の会員にも足を運びやすいようにと年一回、静岡で開催している。

7 月 29 日に静岡県藤枝市文化センターにて開催された今回、本部より西功義指導員が出講し「足腰を鍛えて明るく楽しく元気よく」のテーマのもと 43 名が学んだ。

研修では、「蜂蜜の効能と下肢静脈瘤の予防法」や「体内に良い食べ物と調味料」についての講義を健康指導員から受けた後、西指導員より講義



と実習を学んだ。その中で西指導員は皇居勤労奉仕団に参加した体験を語り、天皇皇后両陛下から御会釈を賜り湧き上がる感激の中で万歳を三唱した喜びを語った。参加者から「日本精神の根底に触れる実感を持った」との声が聞かれた。



「こころ Moji」アーティスト 浦上秀樹氏トークショー

奉祝立教 90 年記念企画 首都圏女性講座かたばみ会主催

- ◎原画作成のアートパフォーマンス(実演)、ポストカードの販売があります。
- 日時 12 月 9 日(日)
- 場所 解脱会本部道場
- 開演 13:30(入場無料)

※浦上氏については解脱誌本年 1、2 月号で紹介されました



「こころ Moji」とは、漢字に別の意味を持つひらがなを組み合わせ、新たなメッセージを生み出すアート。